

平成30年度 年度計画概要図



I 教育・研究

◇国際総合科学部の再編とデータサイエンス学部の大学院設置に向けた検討【1】

- ・新学部設置に向けた文科省への届出及び新学部の特徴を捉えた広報活動
- ・データサイエンス学部の大学院の早期設置向けた検討

◇医学・看護教育の充実【7】

- ・医学教育分野別評価における指摘事項の改善取組の推進と正式な「認証」の取得

◇研究者、研究医、医療人材の育成【9】

- ・「がん専門医療人材養成プラン」、「課題解決型高度医療人材養成プログラム」、「基礎研究医養成活性化プログラム」（文科省29年度採択事業）の実施

◇学生支援の充実【10】

- ・各種減免制度の見直しと新たな給付型奨学金制度の創設に向けた検討
- ・福浦キャンパスにおける福利厚生棟の学生の自習スペースの拡充

◇研究の推進

- ・共同研究推進体制の強化【11】
- ・市民からの寄付による臨床研究、基礎研究の融合によるプロジェクト（かもめプロジェクト）の開始【12】

IV 附属2病院

◇政策的医療の推進・高度医療の提供【22】

- ・がんゲノム診断科の設置とがんゲノム医療連携病院の指定【附】
- ・高度救命救急センターとして、他で対応できない疾患・時間帯の救急患者の積極的な受入れ【セ】

◇人材の育成に関する取組【25】

- ・新専門医制度に対応した人員配置の検討と関連病院等と連携した専攻医の育成【附・セ】

【セ】は市民総合医療センター

◇地域の医療機関等との連携【28】

- ・地域医療機関の訪問、勉強会等の開催などによる顔の見える関係の構築【附・セ】
- ・入退院支援センター等の拡充【附・セ】

◇先進的医療・研究に関する取組【32】

- ・臨床研究中核病院の承認に向けた臨床研究の充実と治験の推進【附】

◇医療安全と病院運営に関する取組【35】

- ・多職種によるチーム医療の推進と病院長のガバナンス強化、経営改善に向けたプロジェクトの推進【附・セ】

II 地域貢献

◇地域志向教育の推進【15】

- ・学部学生全員が地域のことを学ぶとともに、地域課題を解決する人材育成につなげる地域実践プログラム等の提供

◇地域の政策課題解決と横浜市のシンクタンク機能の充実【16】

- ・市の政策課題に対する研究シーズのマッチングによる課題解決・支援と横浜都心部進出の検討、在宅医療支援等のニーズに応え臨床法医学センターの設置

◇大学の知的資源の市民への還元【17】

- ・社会人や市民の学びの機会の充実を図るため、市大教員を中心に本学の特色を生かしたエクステンション講座のほか、専門性の高い教育プログラムの提供

III グローバル

◇留学生の受入【19】

- ・クオーター期間（前期後半）を視野に入れた留学生受入プログラムの実施や宿舎確保と授業料減免等制度見直し
- ・受入れ留学生との交流等により日本人学生が留学同様の体験ができる学習環境整備

◇留学機会の提供【20】

- ・学部再編を踏まえ、特徴を生かしたプログラムの設置や経済支援策の見直し
- ・ポートフォリオ（留学に係る学習履歴や成果を可視化するツール）等の取組の実施

◇市の国際施策と連動した取組【21】

- ・協定校の開拓と協定締結、アカデミックコンソーシアム事業の推進
- ・横浜市の資源を活用し、市大生と留学生とが共に参加する特色ある受入プログラムの実施

V 法人経営

◇コンプライアンス・ガバナンス【38】

- ・不祥事が起きない組織風土の醸成と教育支援体制の検討
- ・研究倫理教育における大学院生の研修受講の必須化

◇人材育成・人事制度【42】 【43】

- ・教員のワークライフバランスの推進、働き方の見直しの取組の推進、適正な人員配置の推進と人事給与制度の見直し

◇附属2病院の再整備構想【46】

- ・附属2病院の医療機能及び役割分担の検討・調査及び将来構想づくり

◇創立90周年記念事業【47】

- ・創立90周年を100周年に向けた「カウントダウンの年」として記念式典等の開催と学生・教職員・卒業生の一体感の醸成

◇財務内容の改善【50】

- ・新たに「YCU修学支援基金」の寄附募集開始等、自己収入の確保と事務事業の見直し・業務改善による経営の効率化

VI 自己点検

◇自己点検評価【51】

- ・中期計画の進捗管理と外部評価での指摘への改善取組の推進
- ・次年度計画への反映